

令和元年度 園芸施設・産地現地研修会のご案内

開催日	令和2年1月17日(金)
開催場所	埼玉県久喜市・栃木県栃木市
主催	一般社団法人日本施設園芸協会

目的

資材費や光熱費の上昇等経営的にまた国際的にも施設園芸を巡る情勢は厳しいものがあり、一層のコスト低減、生産性向上、収益向上が求められています。国においても次世代施設園芸や温室設置コスト低減の推進、A重油の価格補填・省エネルギー化といった燃油対策等の施策が積極的に展開されています。

このような中で、本研修会は、生産者、指導者、研究者、農業団体、施設資材製造会社、農産物販売者等の皆様方に、施設園芸に関する最新の情報や技術等を紹介し、経営の改善、事業の活性化に役立てていただくことを目的に開催しています。

今回は、次世代事業埼玉拠点およびJA全農の栽培実証施設にお伺いして、施設園芸技術および栽培管理から出荷・販売までの特徴的な取り組みについて研修します。

- 集合： JR久喜駅(東北本線)西口ロータリー付近 12:40
※昼食を済ましてご集合下さい。
- ◇ イオンアグリ創造株式会社埼玉久喜農場(久喜市六万部91) 13:00 ~ 14:30
次世代施設園芸導入加速化支援事業の埼玉県拠点である。11棟計3.3haの連棟鉄骨ハウスで約1千t(30t/10a)のトマトを栽培している。低段密植方式に統合環境制御システムを導入し、生産コスト削減を図るとともに、ICTを活用した大規模実証を行っている。種苗生産施設と集出荷施設を整備している。木質バイオマスボイラーを設置している。
- ◇ ゆめファーム全農(栃木市田村町宮ノ辺197) 15:30 ~ 16:30
ハウス設置から栽培管理・収穫販売までをパッケージ化して担い手農家に提案するためのトマト栽培実証施設である。高軒高多屋根タイプ32aの連棟鉄骨ハウスで長期多段採りの土耕栽培を行い、出荷数量40t/10aを達成している。受光環境・環境制御や省エネ等の技術が導入されている。
- 解散： JR小山駅(東北線) 17:00(予定)

募集人数： 35名程度(申込期限は元年12月27日(金)、先着順締切りにご留意)

参加費： (一社)日本施設園芸協会 会員	5,000円
： 野菜流通カット協議会・青果物選果予冷施設協議会会員	6,000円
： 一般(非会員)	7,000円

(見学代、資料代、移動費等を含みます。)

参加の申し込みは、別紙参加申込書を(一社)日本施設園芸協会あてFAXまたはE-mailでお送りください。その後、請求に基づき、参加費を当協会に指定口座にお振り込み下さい。

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本施設園芸協会
TEL:03-3667-1631 FAX:03-3667-1632 E-mail:engei@jgha.com